

飯舘村蕨平地区仮設資材化施設 実証事業の結果概要

資材化炉の 稼働期間		処理対象物			生成物		副産物	
		種類	放射性物質濃度 (Bq/kg)	重量 (t)	放射性物質濃度 (Bq/kg)	重量 (t)	放射性物質濃度 (Bq/kg)	重量 (t)
RUN1	5/3～5/10	土壌	3,100～25,000	16.4	ND～50	25.2	29,000～180,000	0.88
RUN2	5/26～5/29	土壌	10,200～23,000	9.7	8～28	18.2	240,000～310,000	0.63
RUN3	6/5～6/10	土壌	19,000～60,000	19.1	25～40	28.3	340,000～420,000	0.80
RUN4	6/18～6/23	土壌＋焼却灰	9,600～48,000	19.0	18～36	25.6	190,000～320,000	1.08
RUN5	7/1～7/9	焼却灰	8,900～37,000	16.8	37～89	12.5	150,000～230,000	1.6
RUN6	7/18～7/22	焼却灰	11,000～31,000	8.9	82～92	0.6	140,000～170,000	0.71
RUN7	7/26～7/30	土壌＋焼却灰	5,400～27,000	14.6	26～50	13.9	140,000～220,000	0.77

※放射性物質濃度は、Cs134とCs137の合計値を示している。

※放射性物質濃度の有効数字は2桁に丸め、最少表示桁は検出下限値の桁までとしている。

※NDとは検出下限値未満であることを示している。

※放射性セシウムが分離しやすくなるよう、処理対象物に反応促進剤を加えて処理している。

※放射性物質濃度が一定値を超えた生成物については、処理対象物とともに再処理を行っている。

飯舘村蕨平地区仮設資材化施設 実証事業の結果概要

資材化炉の 稼働期間		処理対象物			生成物		副産物	
		種類	放射性物質濃度 (Bq/kg)	重量 (t)	放射性物質濃度 (Bq/kg)	重量 (t)	放射性物質濃度 (Bq/kg)	重量 (t)
RUN8	8/9～8/16	土壌＋焼却灰	5,200～37,000	15.0	70～97	4.6	180,000～220,000	1.2
RUN9	9/4～9/10	土壌＋焼却灰	4,200～31,000	21.1	51～78	10.3	180,000～260,000	1.06
RUN10	9/15～9/20	土壌＋焼却灰	1,300～53,000	20.3	43～79	19.8	230,000～290,000	1.09
RUN11	9/29～10/5	土壌＋焼却灰	9,300～32,000	15.3	26～96	17.1	160,000～270,000	1.28
RUN12	11/13～11/18	土壌＋焼却灰	8,100～87,000	10.0	36～88	8.1	260,000～550,000	0.88
RUN13	11/26～11/30	土壌＋焼却灰	8,100～87,000	0.7	57～64	6.0	190,000～320,000	0.50
RUN14	12/15～12/23	土壌＋焼却灰	5,200～87,000	17.3	76～86	2.2	260,000～550,000	1.08

※放射性物質濃度は、Cs134とCs137の合計値を示している。

※放射性物質濃度の有効数字は2桁に丸め、最少表示桁は検出下限値の桁までとしている。

※NDとは検出下限値未満であることを示している。

※放射性セシウムが分離しやすくなるよう、処理対象物に反応促進剤を加えて処理している。

※放射性物質濃度が一定値を超えた生成物については、処理対象物とともに再処理を行っている。

飯舘村蕨平地区仮設資材化施設 実証事業の結果概要

資材化炉の稼働期間		処理対象物			生成物		副産物	
		種類	放射性物質濃度 (Bq/kg)	重量 (t)	放射性物質濃度 (Bq/kg)	重量 (t)	放射性物質濃度 (Bq/kg)	重量 (t)
RUN15	1/24～2/4	土壌, 焼却灰, 土壌+焼却灰	3,700～41,000	24.7	28～97	46.2	130,000～270,000	2.15
RUN16	2/20～3/3	土壌, 焼却灰	3,700～87,000	24.3	28～86	43.6	98,000～500,000	2.08
RUN17	3/18～3/29	土壌, 焼却灰	2,600～41,000	21.7	40～98	38.4	120,000～220,000	2.17
RUN18	4/22～5/2	土壌	7,500～41,000	25.8	20～86	52.0	120,000～180,000	1.86
RUN19	5/28～6/9	焼却灰	85,000～110,000	19.9	58～99	18.1	140,000～900,000	2.12
RUN20	6/26～7/6	土壌	5,700～28,000	24.7	16～76	48.5	140,000～310,000	1.76
RUN21	7/28～8/11	焼却灰	11,000～41,000	24.7	20～95	36.5	140,000～320,000	2.51

※放射性物質濃度は、Cs134とCs137の合計値を示している。

※放射性物質濃度の有効数字は2桁に丸め、最少表示桁は検出下限値の桁までとしている。

※NDとは検出下限値未満であることを示している。

※放射性セシウムが分離しやすくなるよう、処理対象物に反応促進剤を加えて処理している。

※放射性物質濃度が一定値を超えた生成物については、処理対象物とともに再処理を行っている。

飯舘村蕨平地区仮設資材化施設 実証事業の結果概要

資材化炉の 稼働期間		処理対象物			生成物		副産物	
		種類	放射性物質濃度 (Bq/kg)	重量 (t)	放射性物質濃度 (Bq/kg)	重量 (t)	放射性物質濃度 (Bq/kg)	重量 (t)
RUN22	9/2～9/17	土壌、焼却灰	7,900～103,000	22.6	22～88	55.5	120,000～620,000	2.50
RUN23	10/18～10/31	焼却灰	27,000～110,000	27.5	26～99	42.2	200,000～490,000	2.70
RUN24	11/8～11/16	土壌	8,600～18,000	15.6	10～99	46.8	160,000～300,000	1.66
RUN25	11/27～12/6	焼却灰	20,000～56,000	19.8	7～34	48.3	130,000～300,000	2.01
RUN26	1/12～1/22	焼却灰	25,000～44,000	16.9	9～46	46.3	190,000～340,000	1.82

※放射性物質濃度は、Cs134とCs137の合計値を示している。

※放射性物質濃度の有効数字は2桁に丸め、最少表示桁は検出下限値の桁までとしている。

※NDとは検出下限値未満であることを示している。

※放射性セシウムが分離しやすくなるよう、処理対象物に反応促進剤を加えて処理している。

※放射性物質濃度が一定値を超えた生成物については、処理対象物とともに再処理を行っている。

※RUN23の前処理作業中に作業員が体調不良を訴えたため一時操業を見合わせておりましたが、施設の安全確認及び作業内容等の一部見直しを行った上で操業を再開しました。なお、作業員は当日中に回復し、周辺の空間線量率に変化はありませんでした。